

岐調発第151号
令和5年11月6日

岐阜県士業連絡協議会会員 各位

岐阜県土地家屋調査士会
会長 白 井 理

岐阜県土地家屋調査士会 シンポジウム開催のご案内

「地籍情報シンポジウム in 岐阜2023」

～新たなDX時代における土地制度について考える～

錦秋の候、さわやかな秋晴れの季節となりました。平素は、本会の運営につきまして、格別のご理解とご協力を賜り厚く御礼申し上げます。

さて、長らく続いた新型コロナウイルスのパンデミックが収束しましたが、収束後における社会はどのように変化していくのでしょうか。歴史から学ぶとすれば、働き方や住まい方、生き方の全体を含む包括的な地域分散型社会へと移行することで、ポストコロナにおける持続可能な社会構造が形成されていくものと考えます。

そこで営まれる地域共生社会とは、人と人、人と資源が世代や分野を超えて繋がることで、地域と共に創っていく社会を目指しており、所有者不明土地に代表される社会問題は地域コミュニティの衰退に起因するところ、地域に根ざした専門資格者が地域の共生に積極的に関わりを持って、知識と経験を駆使して地域社会に貢献し、国民生活の安定と向上に寄与することは、専門資格者の使命であると言えます。

そして、今まさに社会の転換期といえるDX時代において、行政の構築する施策が国民の社会生活にどのような役割を果たし、登記などの分野ではどのような変革があるのでしょうか。それらがデジタル技術の活用と共に、地域社会や専門家にどんな対応を求めているのでしょうか。

土地家屋調査士の役割においては、日々生成している筆界情報の成果が、地図データとして社会基盤情報となり、災害復旧や防災はもとより、地域共生社会における街づくりにも活かされていきます。

これらの社会問題や新たな制度、法改正への対応などに対し、それぞれの分野の専門家より意見や提言を頂く機会として、本シンポジウムを開催いたします。

電子政府・電子自治体、マイナンバーの第一人者であります、行政システム総研顧問の榎並利博様の基調講演の後、「DX時代における地域共生社会を考える。」

をテーマとしたパネルディスカッションの、2部構成となります。

このシンポジウムは、一般市民の方の来場を念頭に置いた内容であり、一般の方が理解しやすい平易な言葉での講演となりますが、岐阜県士業連絡協議会会員各位にとっても学びの多い内容であると思いますので、是非ともシンポジウムの意図するところをご理解いただき、万障繰り合わせのうえ多数ご出席下さいますようお願い申し上げます。

なお、会場には駐車場がなく、お車での来場の際は岐阜駅周辺の有料駐車場をご利用頂けますが、収容台数に制限があるため、できるだけ公共交通機関をご利用下さるようお願い致します。

記

1. 日時 令和5年12月1日（金）午後1時00分～午後4時45分
（12時30分開場 定刻開始・時間厳守）
2. 会場 じゅうろくプラザ 2階大ホール
岐阜市橋本町1丁目10番地11
TEL: (058) 262-0150（代）
3. テーマ 「新たなDX時代における土地制度について考える」
4. 基調講演 「マイナンバーとデジタルガバメント」
講師 行政システム株式会社 行政システム総研 顧問
蓼科情報株式会社 管理部 主任研究員
榎並利博 様
5. パネルディスカッション
「DX時代における地域共生社会を考える。」
【進行】 堀田みさ子様
【コーディネーター】
岐阜県土地家屋調査士会会長 臼井 理
【パネラー】
行政システム株式会社 行政システム総研顧問
蓼科情報株式会社 管理部 主任研究員 榎並利博様
岐阜地方法務局 不動産登記部門 統括登記官 小澤 忠様
岐阜市行政部デジタル戦略参与（CIO補佐官） 速水清孝様
岐阜県土地家屋調査士会 顧問 弁護士 秋保賢一様

6. 参加申込 会場の収容人数には余裕がありますが、参加を希望される方は令和5年11月17日（金）までに、事前に岐阜県土地家屋調査士会事務局までお申し込みをお願いします。

メールアドレス： honkai@bz04.plala.or.jp

FAX：058-248-1898

地籍情報シンポジウム in 岐阜 2023 参加申込書

団体名 _____

	参加者のご氏名	役職	連絡欄 何かございましたらご記入ください
1			
2			
3			
4			
5			